

事業名 地域連携推進事業 一般国道108号 古川東バイパス (宮城県大崎市)

事業着手：平成2年度

事業費：200百万円（国費133百万円）

事業の概要

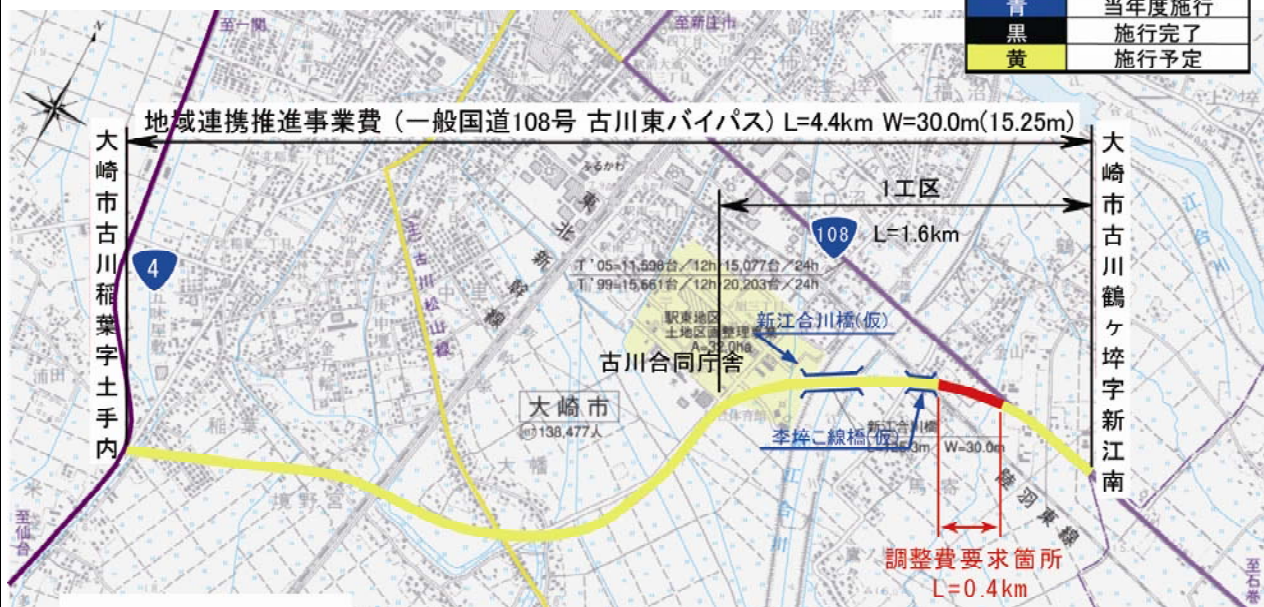
「事業の概要」

古川東バイパスは、大崎市古川鶴ヶ塚～古川稲葉までの延長4.4kmのバイパス事業で、大崎市内の交通混雑の解消、沿道環境の改善などを目的とし、平成2年度に事業着手しています。

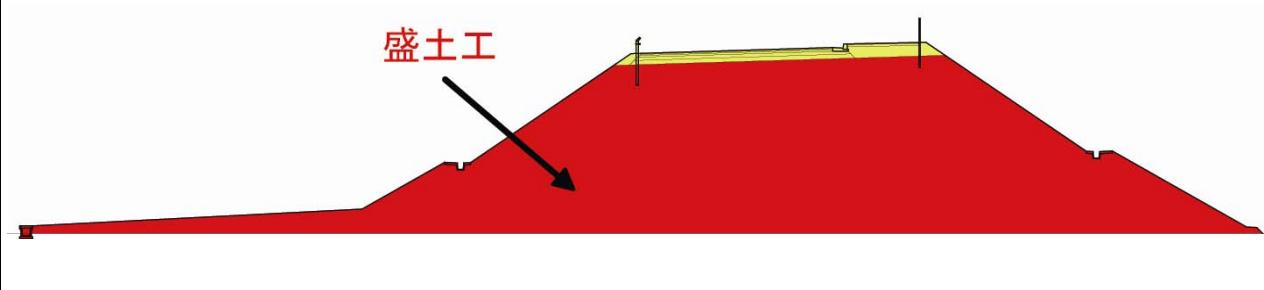
本事業は、国土形成計画(平成20年7月4日閣議決定)で都市の幹線道路の機能改善として位置づけられているバイパス整備事業を推進するものであり、当該予算の活用により、道路改良工事を推進し、1工区の早期供用を目指します。



平面図



断面図



平成20年度調整費の内容

○改良工事の促進 L=0.4km

事業効果

○古川東バイパス事業を促進することで、大崎市古川地区の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図ります。